

保護者等からの事業所評価の集計結果

公表	
事業所名	てらびあぽけっと 三郷駅前教室
公表日	2026年 1月 20日
保護者等数 (児童数) : 46(児童数48)	回収数 : 43 割合 : 93.4 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	39	1	3		特になし 少人数制なので丁度良いと思います	貴重なご意見をいただき有難うございます。今後もお子様 様が落ち着いて活動できるよう、人数や活動内容に応じ たスペースの使い方を工夫し、安心して過ごせる環境づ くり努めてまいります。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	42		1			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いま すか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報 伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41		1	1		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。ま た、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	43				基本大丈夫ですが、夏の室内温度が高いと思いま した。冬は定期的な窓の換気をお願いします(やってる とは思いますが空気こもりがちだと思います)	貴重なご意見をいただきありがとうございます。夏場の 室温につきましては空調設定の見直しと、こまめな温 度・湿度確認を行い、より快適にお過ごしいただけるよ う改善してまいります。また冬場の換気につきましま す、すでに実施している換気に加えて実施タイミングの 明確化と周知を行い、空気がこもりにくい環境づくりに 努めてまいります。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が 受けられていると思いますか。	43				子どもの普段の生活に困ったことなどですぐに面談の 時間を設けて頂き改善策と一緒に考えて下さいました 子供の事をよく理解していただいて、適切な支援をし て頂いております。	温かいご意見をいただきありがとうございます。日々 のお困りごとに対して、面談の機会を通じて一緒に整理 し、改善に向けた取り組みを進められたことを大変嬉し く思います。今後もお子様の特性やご家庭での様子を 丁寧に共有いただきながら、支援内容を都度見直し、よ り適切で専門性のある療育をご提供できるよう職員一同 努めてまいります。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っ ていると思いますか。	43					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析 された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思 いますか。	43				保護者の話しもしっかり聞いて頂いて、計画を作成し て頂いております。 いつもとても丁寧に聞き取りをしてくださり、作成後 も細かく説明してくださるため、安心してお任せする ことができています。	温かいご意見をいただきありがとうございます。保護者 様のお話を丁寧に伺いながら、お子様のご様子やニ ーズを整理した上で個別支援計画を作成できていること、ま た作成後のご説明についても安心につながっているの お言葉を大変嬉しく拝見しました。今後ご家庭での困 りごとや目標を共有いただきながら、客観的な視点で課 題を捉え、分かりやすい計画とご説明に努めてまいりま す。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供 すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容 からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援 内容が設定されていると思いますか。	43					
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	43					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	43				季節の制作とかがありがたいです	嬉しいご意見をいただきありがとうございます。季節の 制作活動を喜んでいただけて、職員一同とても励みにな ります。今後もお子様の興味関心や発達段階に合わせ て、季節感のある制作や多様な活動を取り入れながら、 プログラムが固定化しないよう工夫してまいります。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活 動する機会がありますか。	18	11	3	11	幼稚園に通っています。	てらびあの療育は室内のみで行っている為、公園や地域 活動の場で他児との交流は行えておりませんが、ソー シャルセラビー(ピア活動)として同クールでご利用いた だいているご利用者同士で集団につながる共同療育に取 り組んでおります。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について 丁寧な説明がありましたか。	43					
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	42			1		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等) や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	29	2	5	7		教室としてご家族への支援は重要課題と認識しておりま す。ご利用時のやり取りやご面談の機会を通じてご家庭 での困りごとを丁寧に伺いながら、取り組みのヒントと なる情報提供を継続するとともに、情報発信の強化や、 保護者様も参加いただける研修の企画を含め、より積極 的に取り組んでまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況につ いて共通理解ができていると思いますか。	42	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	42		1			
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	43				いつも寄り添ってくださりありがとうございます。で きるようになったことを一緒に喜んでくださる先生方 がいることに感謝しています。	温かいお言葉をいただきありがとうございます。お子様 のできるようになったことを一緒に喜んでいること、ま た日々の関わりが支えになっていると感じていただけて いることを大変嬉しく思います。今後もお子様とご家族 の思いに寄り添いながら、小さな変化や成長を丁寧に受 け止め、安心して通っていただける関わりを積み重ねて まいります。

	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいの支援がされていますか。	9	9	3	22		時間の問題で開催が難しい状況ではありますが、今後のご要望に応じて開催を検討してまいります。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	42			1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	43					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	42			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	41		1	1		
非常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	33		1	9		マニュアル類につきましては策定しておりますが、今回「わからない」のご回答が多かったことから、保護者様への周知・ご説明が十分でなかった点を真摯に受け止めております。今後は各マニュアルの要点や緊急時の対応手順、訓練の実施状況が分かりやすく伝わるよう、配布物や面談時の説明、通信等での案内を整え、周知の強化に努めてまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	30			13		訓練の実施状況についてのご報告が十分にお伝えできておらず、申し訳ございません。教室では非常災害に備え、現状は年3回、訓練実施日にご利用いただいているお子様と一緒に避難訓練を行っております。今後は訓練内容や実施結果が保護者様にも分かりやすく伝わるよう、通信等での報告方法を見直しつつ、引き続き安全確保と備えの徹底に努めてまいります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	40		1	2		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	38			5	そのような場面に遭遇したことがないためわかりません。ただ、契約時に事故発生時迅速に連絡をいただけることをご説明いただきました。	ご意見をいただきありがとうございます。事故等（怪我等を含む）が発生した際には、速やかに保護者様へご連絡し、状況や対応内容をご説明することを徹底しております。また、代わりの職員でも事案に対応できるように、発生時は職員間でも速やかに情報共有を行うことを教室のルールとして徹底しています。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	42			1	少しずつ受け入れているようですが、週1回のため慣れるまで時間がかかりそうです。ずっと楽しく通っています！	貴重なご意見をいただきありがとうございます。週1回のご利用の場合、環境や関わる職員に慣れるまでにお時間がかかることもあります。お子様のペースを大切にしながら、見通しが持てる関わりや安心できるルーティンづくりを工夫してまいります。また「ずっと楽しく通っている」とのお言葉も大変嬉しく、今後安心感を土台に、楽しく通っていただける環境づくりに努めてまいります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	38	1	2	2	子どもの性格上、受け入れられる時とダメな時があります。一時期、嫌がって泣いてしまったことがありましたが、相談し、安心できる先生をしばらく続けてくださったおかげで、少しずつ前向きに行けるようになってきています。行きたい行きたい言っています！てらびあを毎週とても楽しみに通っています。一度も行き渋りがなくらい大好きです。	貴重なご意見をいただきありがとうございます。気持ちの波がある中でも、安心できる職員との関わりを継続することで少しずつ前向きになれているとのこと、大変嬉しく拝見しました。また「行きたい」「毎週楽しみ」「行き渋りがなくらい大好き」といったお声も職員一同の励みになります。今後もお子様の気持ちの変化を丁寧に受け止め、安心して通える関係づくりと、楽しさにつながる活動・環境の工夫を積み重ねてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	43				先生方が、一生懸命子供と向き合ってくれているのがすごく伝わり、子供の成長をいっしょに喜んでくださるので日常の小さな「できた」や困りごとなども「まづてらびあぼけつとの先生に伝えなきゃ！」と思わせてくれます。家でうまく教えられないことも一対一で伝えていただくことにより、確実に身について行っているのがすごくわかるのでてらびあぼけつとに通い始めて本当によかった、と痛感しています。今後もよろしくお願いいたします。本人の無理のない範囲で支援してくれていて、確実に成長してますし先生皆親身に関わってくれていて親子共々大満足です。いつも温かく迎えてくださり、ありがとうございます。子どもも通うのを喜んでおり、毎回楽しく過ごしていて嬉しく思います。	温かいご意見を沢山お寄せいただき、誠にありがとうございます。職員がお子様と一生懸命向き合っていることや、日々の小さな「できた」を一緒に喜べていることが、保護者様の安心や信頼につながっているとお言葉を大変ありがたく拝見しました。ご家庭では難しい場面もある中で、教室での一対一の関わりが着実な成長につながっていると感じていただけていることは、私たちにとって大きな励みです。今後もお子様の無理のないペースを大切にしながら、ご家庭と連携し、安心して楽しく通っていただける支援を積み重ねてまいります。

事業所における自己評価結果						
公表						
事業所名		てらびあぽけっと 三郷駅前教室				
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		大部屋の端を区切り個室として使用している。 小集団活動が可能な大部屋と半個室、簡易的な仕切りスペースを活用し、活動内容やお子様の状態に応じた利用人数の調整を行っています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		お子さまの年齢や発達段階に合わせて、積極的にピア活動を取り組む工夫をしている お子様の発達段階や成長に応じ、基本はマンツーマン支援を行い、育ちに必要な場合に限り、少人数での活動も取り入れながら職員配置を調整しています。	ピアでのセラピー時にはフリーのセラピストがいると、サポートに入ったりはじめの会の司会が出来るなどするのでよいと思います。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8		棚や場所にラベルやポスターを掲示し、活動や物の場所が視覚的に分かるよう配慮し、子ども本人にとって理解しやすい環境づくりに努めています。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		毎朝一斉に清掃したり、AクールとCクールの終わりに消毒をしている。 毎日の清掃と、お子様の活動に合わせた部屋割りなどを職員間で相談して行っている。 朝礼後に職員全員で清掃を行い、清潔で心地よく過ごせる環境を整えています。活動内容に応じて空間を使い分けられるよう配慮しています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8		お子様の特性や活動内容に応じ、個別活動は基本的に個別の部屋や場所を使用し、集中しやすい環境を整えています。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8		毎月、個々で目標設定を行っている。また、チャットワークで振り返りが行われている。 必ず月末に来月の目標設定を行い、その月の目標の振り返りをし、確認することが出来ています。 特別支援計画は各担当者が作成し、個別支援計画もお子様の日常的な取り組みなどから必要と思われる活動などを提案し作成や評価に加わっている。 共通のお子様を担当する職員間で日々の様子や変化を共有し、支援の振り返りや改善につなげています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		毎年、保護者向け自己評価アンケートを実施し、いただいたご意見を職員間で共有・検討し、業務改善につなげています。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		朝礼時や空きクールの時などに担当間や児発管と意見などを話し合っている。 職員からの相談や意見を随時受け止め、児発管で検討の上、必要に応じて管理者と共有し業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		定期的に本部による内部監査を受け、評価や助言を踏まえながら、業務改善に継続的に取り組んでいます。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	8		本部SVが開講する「てらぼけLABO」に可能な範囲で参加し、支援の質の向上に努めています。	機会はあるがセラピーが忙しく、あまり参加できていないように思われます。 セラピーの時間が多く研修があることを提示されても、受講したい思いを伝えにくいとは感じている。 機会はあるが、セラピーに入ることも多いので、研修参加までに至らないことが多い。
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		本部からの通知に基づき、支援プログラムをWAMNETにて公開しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8		担当間でもニーズや課題を共有し児発管に報告している。 直接支援に入る職員の評価と、ご家庭からの聞き取りをもとに、発達段階やニーズを整理し、支援計画を作成しています。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		作成後に必ず全体で共有する時間を設けている。 運営指針に基づき、子どもの最善の利益を大切にしながら、日々の支援状況や家庭からの情報を職員間で共有し、共通理解の下で支援計画を検討しています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		個々のファイルにコピーを挟みいつでも見てその日のプログラムを立てられるようになっている。 担当間でお子様に合わせて、その都度確認したり、カンファレンスを行い、計画に沿って支援ができていると思います。 個別支援計画書は支援ファイル内にコピーを共有し、いつでも確認できる体制を整えています。あわせて、計画内容に沿った支援が行われているか定期的に確認しています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		本部提供のアセスメントツールや日々の行動観察を活用し、発達状況の把握に努めています。一方で、分析シートの活用については職員間での共有・定着が今後の課題です。	

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		ガイドラインを踏まえ、本人支援・家族支援・移行支援等の視点から、具体的な支援目標と内容を個別支援計画に明記し、実施しています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		微細活動など、個々に合わせた内容を担当間で話し合い行っている。少人数でのピア活動や個別活動について、担当セラピスト間で内容を共有・相談しながら、チームで立案・実施しています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		前回のプログラムやお子様の年齢に合わせて行っている。お子様の目標に合わせて、プログラムの習得状況から次に行うプログラムを考えて行っている。また、取り組みの難易度が高いと感じたときには段階を細かく分けるなどスモールステップで行えるように進めている。利用頻度や発達段階に応じてプログラム内容のバランスを検討していますが、内容が固定化しやすいケースもあるため、今後も工夫を重ねていきます。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8		小学校を見据えたり、社会性を伸ばしたりするために集団を個々に合わせて取り入れている。お子様のご様子に合わせて組み合わせをしたりと、積極的に小集団の活動を取り入れています。児童発達支援計画に小集団での「特別支援」も位置づけ、お子様の状況に応じて個別・集団双方の支援を組み合わせています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		ホワイトボードを活用し職員の配置などを視覚的に分かりやすくしている。朝礼後に職員間で使用する個室や役割分担を確認し、連携して支援を行っています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		支援後はタレを行い、その日ご利用のお子様の様子や支援内容について振り返り・共有を行っています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		お子様の支援記録をデータでまとめて管理し、担当職員間で確認しながら支援の検証や改善につなげています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		おおむね半年ごとにモニタリングを行い、お子様の状況に応じて支援計画の見直し・更新を行っています。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		三郷市主催の「児童発達支援ネットワーク会議」に参加し、関係機関との情報共有・連携を行っています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		児発管が中心となって、園の訪問などを行っている。医療機関との連携実績はまだありませんが、子ども発達支援センターや関係事業所、園と情報共有を行い、連携体制の構築に努めています。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		保護者様や園からのご依頼に応じて、必要なお子様に対し併行利用や移行を見据えた調整を行い、情報共有を図っています。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8		就学時には「就学支援シート」を作成し支援内容や強み・配慮点を共有しています。学校からの依頼に応じ、情報提供を行った実績もあります。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8		三郷市子ども発達支援センターと連携し、保護者様の同意のもとと検査結果等の情報共有を行い、支援に活かしています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	6	教室主導での交流機会は設けていませんが、在園先等で地域の子どもと関わる機会があり、地域社会への参加が図られています。	
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8		フィードバック時にご家庭や園での様子をお伺いしたり、出来たこと頑張っていたことなどを共有している。毎回フィードバックの時間を設け、支援内容やお子様の様子・成功体験を共有しています。必要に応じて面談を行い、共通理解を深めています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8		研修の機会はないが必要に応じてベアトレの動画を紹介している。 教室での取り組みの様子を伝えながらご家庭での様子をお聞きし、声のかけかたや取り組み方などを提案するとともに、教室でも同様にプログラム等をすすめている。 教室主導の研修は現在準備中ですが、発達支援センターや本部からの研修情報がある際は、掲示や共有を行っています。	
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8		契約時に運営規程や支援内容、利用者負担について丁寧に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8		新たな支援やアセスメント内容については、随時ご家庭の意向やニーズを確認しながら進めています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8		支援計画の更新時には内容を説明し、必ず保護者様の同意を得ています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8		児発管が中心となり、面談を行っている。 ご家庭からのご相談に応じるほか、送迎時やフィードバックの様子を踏まえ、状況に応じて教室から面談の提案を行っています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	7		保護者会等は現在検討・準備中で実施には至っていませんが、ご要望があった際には前向きに検討していきたいと考えています。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8		日頃から職員間で情報共有を行い、ご相談や申入れには可能な範囲で迅速かつ丁寧に対応できるよう意識し努めています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8		LINEやInstagram、ホームページ等を活用し、教室の活動やお知らせの情報発信を行っています。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8		職員間で個人情報の取扱いに十分留意し、支援中の画像や動画は教室内の管理フォルダで適切に管理しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8		個々に応じて、セラピーノートに起床時間や食事の有無などを記載していただいている。 お子様のしぐさや表情から思いを汲み取り、絵カード等の視覚的手段も用いながら意思疎通を図っています。保護者様とのやり取りでは、必要に応じて使用言語や伝え方を工夫しています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	6		現在は支援や運営の特性から実施が難しい状況ですが、今後のご要望を踏まえ前向きに検討していきたいと考えています。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8		定期的に様々な状況を仮定して訓練が行われている。 各種マニュアルに基づき、計画的に訓練を実施し、職員間で対応手順の確認と共有を行っています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8		業務継続計画（BCP）に基づき、今年度中の訓練実施に向けて計画を立て、災害時の対応体制を整えています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8		てんかんなどがあるお子様には個々にマニュアルを作成し担当がすぐに対応できるようにしている。 契約時のアセスメントで必ず確認を行い、状態変更があった場合はご家庭と連携し、緊急時の対応手順を確認・共有しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8		契約時アセスメントにて、アレルギーや症状、摂取可否の範囲について確認し、支援記録ファイルにコピーを格納・共有しています。医師の指示書に基づく対応事例はまだありませんが、今後提出があった際は指示に沿って適切に対応します。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8		教室だより等を通じて災害時対応の周知を行ってきました。	今後は安全計画に基づく取組についても、継続的にご家庭へ共有していけるよう工夫していきたいと考えています。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8		チャットワークで共有をしている。 社内連絡ツールを活用し、ヒヤリハットや事故に関する内容を職員間で共有しています。再発防止に向けて内容を確認し、支援や環境面の見直しにつなげるよう努めています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8		定期的にチェックシートを用いて虐待防止に関する意識確認を行い、職員全体で共通認識を高めるよう努めています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	8		これまで該当するお子様がいないため、児童発達支援計画への記載は行っていないませんが、契約時に身体拘束に関する方針を説明し、保護者様の同意を得ています。今後、安全確保の観点からやむを得ず必要となる場合には、事前に十分な説明を行ったうえで、児童発達支援計画への記載を含め適切に対応します。	



## 事業所における自己評価総括表

公表

○事業所名

てらびあぼけっと 三郷駅前教室

○保護者評価実施期間

令和7年11月20日

～

令和7年12月17日

○保護者評価有効回答数

(対象者数)

46

(回答者数)

43(93.4%)

○従業者評価実施期間

令和7年11月20日

～

令和7年12月10日

○従業者評価有効回答数

(対象者数)

8

(回答者数)

8

○事業者向け自己評価表作成日

令和7年12月24日

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	<b>1. 個別支援の質</b> 一人ひとりの発達段階や特性を丁寧に捉え、必要なスキル獲得につながる個別支援を積み重ねています	日々の観察と記録をもとに支援内容を検討し、達成状況に応じて段階づけ（スモールステップ）を行っています。	日々の実践を振り返る機会を継続し、支援内容と関わり方の改善を組織的に進めます。
2	<b>2. 保護者対応</b> 保護者様と共通理解をつくり、困りごとに寄り添いながら支援につなげています	フィードバックの時間を意識して確保し、家庭や園の様子を伺い、必要に応じて児発管面談につなげています。	送迎導線や役割分担を整えつつ、短時間でも要点が伝わるフィードバック方法を統一していきます。
2	<b>3. 環境づくり</b> 子どもに分かりやすい環境と、清潔で安心できる空間を維持しています	ラベル掲示や部屋割りの工夫、清掃と衛生管理を継続し、活動に合わせた環境調整を行っています。	室温や換気など季節要因も含めて点検し、快適性の改善を継続します。
4	<b>4. 小集団・ピア活動の活用（就学を見据えた支援）</b> 個別支援を軸にしつつ、必要に応じて小集団やピア活動を組み合わせられています	発達段階に合わせて組み合わせを調整し、社会性や見通しづくりにつながる機会を設定しています。	就学準備の観点を整理し、支援内容の共通化と質の平準化を進めます。
5	<b>5. 情報共有の徹底</b> 担当間で情報共有を徹底し、支援の方向性をそろえながら対応できています	セラピー前後の申し送りや記録、ミーティングで変化や対応方針を共有し、必要に応じて即時に調整しています。	固定情報（手順や重要連絡）を迷わず参照できる置き場を整備し、必要な情報が必要なものに見つかる仕組みを強化します。
	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	<b>1. 研修参加・学びの時間確保</b> 研修機会はあるものの、配置や業務量の都合で参加が難しい場面があります	空きクールが少なく、個別準備や記録業務と重なりやすいことが要因です。	参加可能枠の見える化や調整ルールを整え、学びの機会を確保して支援の質向上につなげます。また、必要に応じて動画視聴できる環境を整備します。
2	<b>2. 送迎時の混雑と駐車場制限（保護者対応への影響）</b> 入れ替え時の混雑により、フィードバックが少なくなりやすい場面があります	セラピーの時間枠や駐車台数が少ない(2台)こと、運用面での取り決めが十分ではないことが要因です。	駐車場の物理的な確保を進めるとともに、保護者様への駐車場利用に関する周知の徹底や、サポート職員がいない場合の朝礼時での役割分担など、運用面での改善に取り組み混雑緩和を図ります。
3	<b>3. 家族支援（保護者同士の交流機会）</b> 保護者様同士の交流機会や家族支援の場が限定的です	イベントとして考えると時間の確保が難しいことが要因です。	療育参観日の開催やリズムウォーク参加、プチ座談会など、通常のセラピー時間帯に保護者様が気軽に参加でき、保護者様同士の交流が図れる機会を検討します。
4	<b>4. 防災・緊急時対応の周知</b> 保護者様へ継続的に共有できる機会が限られ、伝わり切っていない点があります	契約時の説明以降にお伝えする機会が限定的(ブログでの訓練報告のみ)であることが要因です。	訓練報告に加え、対応フローやマニュアル要点、職員研修の実施状況を定期的に分かりやすく周知していくことを検討します。